

早期全線開通へ座談会 圏央道建設促進県民会議



座談会で圏央道について語り合った左から飯沼
会長、諸岡会頭、石田名誉教授、木場客員教授＝
9日、千葉市中央区

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）建設促進県民会議は9日、千葉市中央区のホテルで、座談会「圏央道が繋ぐ千葉の未来」を開催した。座談会の模様は11月5日付本紙で掲載する。

座談会には、フリーキャスターで千葉大学の木場弘子客員教授、筑波大学の石田東生名誉教授、成田商工会議所の諸岡靖彦会頭、県観光物産協会の飯沼喜市郎会長が参加。千葉県区間で唯一未開通となっている大栄ジャンクション―松尾横芝インターチェンジ間の早期開通の意義や圏央道が千葉県経済と観光にもたらす効果などを語り合った。